奈良市幼保再編基本計画に基づく

奈良市幼保再編実施計画



平成25年7月 奈良市

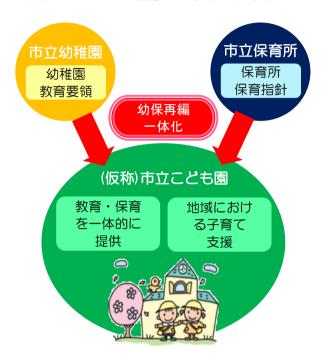


本市では、市民の皆様がこれからもずっと、「本当に安心して子どもを生み、育て、子育てに大きな喜びを感じることができる」環境づくりのため、 市立幼稚園と市立保育所を一体化した「(仮称)市立こども園」に再編します。

奈良市が設置をめざす「(仮称)市立こども園」とは

子ども・子育て支援の新たな仕組み (「子ども・子育て支援新制度」(21 頁参照))に基づく、幼保一体化した新 たな認可施設(新たな「幼保連携型認定 こども園」)のことをいいます。

「(仮称)市立こども園」では、すべての子どもが健やかに成長することをめざし、就学前の教育・保育、地域での子育て支援を総合的に提供します。



本市が抱える課題の解決及び多様化する市民ニーズにスピード感を持って対応し、子どもを安心して生み育てられるよう、本実施計画に基づき、取組を積極的に進めていきます。

さらに、統合・再編を進めていくにあたって、民間にできることは民間に 委ねることを視野に、市立幼保施設の民営化など民間活力を活用することに ついても併せて検討・実施していきます。

【再編のメリット】

- ◇ 保育所待機児童を解消します。
- ◇ 子ども同士が育ち合い、学び合うことができる集団規模で教育・保育を実施します。
- ◇ 地域における子育て支援を充実します。
- ◇ ○歳児から就学前までの子どもの発達 過程を踏まえた、一貫したカリキュラ ムの下で教育・保育を受けることがで きます。
- ◇ 3歳児からは、保護者の就労の有無に 関わらず受け入れることができます。
- ◇ 老朽化した幼保施設を更新・改修しま す。

【再編のデメリット】

- ◇ 再編の手法として、市立幼保施設を閉園する場合があります。
- ◇ 再編によって、通園距離が長くなる場合があります。

